

平成19年度

事業報告書

ともえ学園

目 次

- 1 利用者の状況
- 2 トライアングル
- 3 レインボー
- 4 はなまる
- 5 園内行事
- 6 対外行事
- 7 外泊
- 8 医療
- 9 栄養食生活
- 10 事務
- 11 午前日課
- 12 入浴洗濯
- 13 寝具
- 14 営繕
- 15 親の会
- 16 食生活
- 17 実習
- 18 ともえ通信
- 19 研修
- 20 ボランティア
- 21 あいさつ運動
- 22 ゴミゼロ運動
- 23 掲示
- 24 消臭除菌
- 25 人権委員会
- 26 見学者
- 27 防災
- 28 朝礼
- 29 運営会議
- 30 安全運転管理者
- 31 危険物取扱者
- 32 ふれあいランド
- 33 福祉協会
- 34 ホームページ

1 利用者の状況

1) 1年間の入所者状況

月	月初在園数	入 所	退 所	月末在園数
4	70	0	0	70
5	70	0	0	70
6	70	0	0	70
7	70	0	0	70
8	70	0	0	70
9	70	0	0	70
10	70	0	0	70
11	70	0	0	70
12	70	0	0	70
1	70	0	0	70
2	70	0	0	70
3	70	0	0	70
計	70	0	0	70

2) 短期入所事業受入状況

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備 考
4	4	4	12	
5	2	3	10	
6	3	3	12	
7	1	2	8	
8	2	2	7	
9	2	3	17	
10	2	2	12	
11	2	3	12	
12	1	2	9	
1	1	1	4	
2	2	4	14	
3	2	6	18	
計	24	35	135	

3) 日中一時支援事業受入状況

月	受入人数	受入回数	受入延べ日数	備 考
4	1	1	1	
1	1	1	1	
計	2	2	2	

4) 在所者状況(平成20年3月31日現在)

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	0	0	0
20～25歳未満	4	0	4
25～30歳未満	4	0	4
30～35歳未満	11	1	12
35～40歳未満	18	1	19
40～45歳未満	17	2	19
45～50歳未満	8	0	8
50～55歳未満	2	0	2
55歳以上	2	0	2
計	66	4	70

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	0	0	0
1～5年未満	6	1	7
5～10年未満	9	0	9
10～15年未満	34	2	36
15～20年未満	1	1	2
20年以上	16	0	16
計	66	4	70

診 断 名	男	女	計
自閉症	47	3	50
精神発達遅滞	11	0	11
てんかん	5	0	5
統合失調症	2	1	3
その他	1	0	1
計	66	4	70

支援費支給区分	男	女	計
A	56	4	60
B	10	0	10
C	0	0	0
計	66	4	70

措 置 機 関 名	男	女	計
広島市中区	3	1	4
広島市東区	2	1	3
広島市南区	5	1	6
広島市佐伯区	6	0	6
広島市安佐北区	4	0	4
広島市安佐南区	3	0	3
広島市安芸区	1	0	1
大竹市	1	0	1
呉市	8	0	8
福山市	5	0	5
廿日市市	1	0	1
三次市	4	0	4
東広島市	1	0	1
尾道市	2	0	2
竹原市	1	0	1
江田島市	1	0	1
庄原市	1	0	1
山県郡北広島町	1	0	1
安芸郡熊野町	1	0	1
世羅郡世羅町	1	0	1
島根県松江市	2	0	2
山口県防府市	2	0	2
山口県周南市	1	0	1
山口県岩国市	2	0	2
山口県下関市	1	0	1
山口県熊毛郡平生町	1	0	1
高知県高知市	1	0	1
岡山県真庭市	1	0	1
富山県富山市	1	0	1
石川県津幡町	0	1	1
長崎県長崎市	1	0	1
東京都渋谷区	1	0	1
計	66	4	70

2 トライアングルグループ

1 グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。
ひとり一人が安定した生活を送られるよう支援する。

2 生活

目 標

基本的な生活習慣の確立を目指す。

健康、清潔の維持に努める。

内 容

衣類整理 : 衣類を洗濯室から自室に持ち帰り、整理し入浴の準備を行う。

パジャマの準備ができたなら脱衣室の棚へ持って行く。

時間を分け、支援の必要な方は職員が側について一緒に行く。

シーツ交換 : 毎週日曜日に、職員と共に自分のシーツを交換する。

汚れている物は随時交換する。

失禁等で寝具が汚れやすい方については、個別に敷きパット等を使用し、なるべく寝具が汚れないように配慮した。

衣 類 : 季節に応じた衣類、好みや使いやすさに配慮したものを提供した。

掃 除 : 汚れたらすぐ掃除を行う。毎朝各部屋の拭き掃除を行う。

トイレは1日3回以上掃除を行う。チェック表を作成しチェックしながら行った。

歯 磨 き : 歯磨きチューブを使用し毎食後、確実に仕上げ磨きを行う。

入 浴 : 体調の悪い人以外は毎日入浴し清潔を保つ。

同性介助で行いゆっくり入ってもらうよう配慮する。

食 事 : 落ち着いて食べて頂けるよう配慮する。

苦手なものは少し量を減らす等、個別に対応する。

- ・月1回血圧、体重体脂肪測定を行い増減をチェックする。(健康状態の把握)
- ・毎週土曜日午前、爪切り、耳掃除、その他身だしなみをチェックする。
- ・うがい、手洗い、手指消毒の励行。
- ・入浴後のケア：頭髪をドライヤーで乾燥させる。皮膚疾患・怪我等の薬を塗布する。
- ・受診：歯磨き時、入浴介助時、口腔、全身をチェックし必要に応じ受診する。
- ・生活用品の補充(トイレトペーパー・ハミガキチューブ・歯ブラシなど)を徹底する。

まとめ

- ・居室の衛生管理が行き届いていない箇所があった。
- ・トイレトペーパーなど、消耗が激しい物についても円滑に提供できた。
- ・リビングのソファを新しく購入し、過ごしやすい環境作りに取り組んだ。
- ・グレーチングの掃除やクリーンボーイの使用が確実にできていなかった。
- ・敷きパット等を利用することにより寝具の汚れを軽減することができた。

3 日課

目 標

- ・日課の流れをスムーズにする事によって、混乱を防ぐ。

内 容

- ・7名の利用者を対象に時間を決め、定期的なトイレ誘導を徹底した。
- ・8時半に夜勤者、13時に早出職員が名簿を見ながら人員確認のチェックするようにした。
- ・日にちと場所を設定し、各居室（主にベッドの下、壁）、グレーチング、壁、リビングなどを掃除した。
- ・2月よりラジオ体操を朝と昼のつどい前に行うようにした。ラジオ体操前には音楽を流し、リビング集合への合図とした。
- ・スムーズに活動へ参加するために早出職員が朝の間食準備、日勤職員は生活棟で帽子やジャンパーを利用者に渡し、遅出職員は就業と同時に間食の支援を行うようにした。

まとめ

- ・定期的なトイレ誘導を行うことによって失禁・部屋への放尿が激減した。
- ・人員確認のほか、利用者の所在も把握できるようになりスムーズに集合してもらうことができるようになった。
- ・昼に遅出職員が窓ふきをすることは定着したが、各居室（主にベッドの下、壁）、グレーチング、壁、リビングなどは途中から曖昧となりできていなかった。毎日できる時間とその日のどの職員が行うのかを考え、確実に出来るようにしないといけない。
- ・ラジオ体操は徐々に定着してきている。音楽を聴いてリビングに集合する利用者もいる。
- ・職員の役割分担を行うことにより活動への参加の流れがスムーズに行えるようになった。また、利用者も誘導することにより混乱なくスムーズに活動へ参加できている。

4 行事

目標

- ・利用者個々に応じた行事を提供する。
- ・季節感を実感したり、様々な体験をしてもらえる事で充実した生活を送ってもらう。

内容

月	日	行 事 名	参加人数	場 所
4	7	花見	25名	療育センター周辺
	13	お楽しみ外出	2名	若宮公園・尾関山公園
5	16	宿泊旅行	4名	島根アクアス・イリスの丘
	26	バスドライブ	23名	風土記の丘
	26	お楽しみ外出	2名	香山ラベンダーの丘
6	19	お楽しみ外出	3名	憩いの森弘法山
	23	お楽しみ外出	2名	君田遊園
	23	バスドライブ	23名	高谷山
	28	日帰り旅行	2名	広島市安佐動物公園
7	1	日帰り旅行	1名	広島市民球場
	6	お楽しみ外出	2名	カルチャーセンター
	10	宿泊旅行	4名	鳥取花回廊・フォーゲルパーク
	24	お楽しみ外出	3名	高谷山

	28	夏祭り	25名	多目的棟
8	8	お楽しみ外出	2名	サンデーサン
	25	バスドライブ	23名	鮎の里
	25	お楽しみ外出	2名	広島県立みよし公園
9	11	お楽しみ外出	3名	風土記の丘・サングリーン
	14	日帰り旅行	2名	福山市立動物園
	25	お楽しみ外出	3名	世羅高原農場
	29	バスドライブ	23名	常清滝
	29	お楽しみ外出	2名	庄原市ふれあいセンター
10	7	親子レク	25名	多目的棟
	16	お楽しみ外出	2名	庄原上野公園
	25	宿泊旅行	4名	みろくの里・御調グリーンランド
11	6	お楽しみ外出	2名	みよし公園・喫茶
	15	宿泊旅行	4名	島根アクアス
	24	バスドライブ	22名	吉田運動公園
	24	お楽しみ外出	3名	君田温泉・神之瀬峡
12	7	日帰り旅行	3名	尾道市向島
	19	お楽しみ外出	2名	セブンイレブン・風土記の丘
	15	忘年会	25名	センタープレイルーム
1	12	初詣	25名	天津神社
	22	お楽しみ外出	4名	君田温泉「喫茶21番館」
2	23	バスドライブ	23名	庄原総合公園
	23	お楽しみ外出	2名	サングリーン
3	11	お楽しみ外出	2名	風土記の丘
	22	お楽しみ外出	2名	三次市立図書館
	22	バスドライブ	26名	風土記の丘

まとめ

- ・グループ会議の後に、季節の行事・お楽しみ外出とバスドライブを実施した。バスドライブと、お楽しみ外出を同日に行うことで、人数配分が良くゆっくりと過ごすことができて良かった。
- ・宿泊旅行と日帰り旅行を計画する事で、個々に応じた場面を設定する事ができた。
- ・お楽しみ外出の回数を増やすことで、たくさんの経験をしてもらうことができた。
- ・親子レクでは、学園内で行うことで、ご家族の方に普段の様子を知っていただくことができ、時間のゆとりもあった。

5 ホームページ

目的

ホームページを通じて利用者の方の生活や様子を、ご家族や各方面に発信する。

内容

行事や日課、日々の生活風景等を学園ホームページの「できごと」で紹介した。

行事や外出の写真をグループの紹介ページに掲載した。

まとめ

不適切な表現が無いように注意しながら、学園の様子を紹介できるように、より充実した内容となるよう工夫していきたい。

6 グループ会議

目的

利用者により良いサービスを提供できるように支援内容、各活動についての課題を協議する。ケースカンファレンスを行い支援の方法、見直しを行う。

内容

4月...事業計画「職員としての行動規範」再確認、ケースカンファレンス(1名)

5月...目標管理について、トイレ誘導について、掃除について、HP記載について

6月...トイレ誘導について、掃除について、ケースカンファレンス(2名)

7月...親子レクについて、顔拭きについて、人権委員会から、ケースカンファレンス(1名)

8月...人員確認について、人権委員会から、画像の保管方法について、トイレ誘導について
ケースカンファレンス(1名)

9月...掃除について、人権委員会から、コードレスホンの使い方について、人権委員会から

11月...寝具の取扱について、整髪、身だしなみについて、記録について、人権委員会から

12月...施錠について、敬語について、身だしなみについて、歯磨きについて、防災について
人権委員会から、ケースカンファレンス(4名)

1月...掃除について、人権委員会から、摂食方法について、ケースカンファレンス(4名)

2月...緊急時の対応について、体操について、多飲水について、短期入所受け入れについて
人権委員会から

3月...各係のまとめ、人権委員会から

(高田孝康、達中久恵、中田和弥、渡邊加代子、木村美代子、有田貴之、荒瀬好司、渡邊 武、堂西美保)

3 レインボーグループ

1 グループ目標

- ・言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を考えた対応をし、安定し、穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。
- ・体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。
- ・安全で清潔な環境を提供する。

2 生活

1) 生活全般

目的

- ・基本的な生活習慣の確立を目指す。
- ・快適な生活環境の確立。
- ・衛生的で清潔な生活空間の確保。

内容

〔生活〕

食 事：ゆっくり・美味しくをモットーに個別配慮する。

入 浴：個々のペースにあわせた誘導、支援をする。介助しながら洗髪・洗体の自立を目指す。又怪我等無いかの全身チェックをする。

排 泄：個々に応じた排泄誘導、又確認による健康状態の把握に努める。
排泄後始末介助と援助（ペーパー使用）。

運 動：午前の集い前ラジオ体操第1、午後の集い前ラジオ体操第2を行う。

寝 具：週一回シーツ交換、又日常的汚れはその都度交換する。

衣 類：年2回の衣替え・適宜補充。季節に応じた衣類調整等の気配りをする。

日用品：定期的確保による常備。

掃除の徹底による安全・清潔な生活空間の確保。

〔衛生〕

手洗いの励行：飲食前・外出後・クラブ活動後、手を添える等個別支援による確実な手洗い。
シャボネット・タケックスクリン使用。タオルによる確実な拭き取り。

口腔：毎食後の歯磨き実施。定期歯科受診。歯ブラシの交換。

外出後・クラブ活動後にはイソジンによる口腔内消毒。

洗顔・髭剃り：毎朝、朝食後に濡れタオルでの顔拭き及び、電気カミソリでの髭剃り実施。

散髪：定期的実施。

血圧：毎月1回。

体組成測定：毎月一回。

爪切り・耳掃除：週一回。

薬付け：入浴後個々に応じた軟膏塗布（あかぎれ防止、痔の治療等）。および、朝食後、昼食後にすり傷、切り傷等のイソジン消毒や軟膏塗布、点眼など、その時の利用者の状況に応じた処置をする。また、その処置を記録表に記入し、確実に実施。

加湿：感染症予防対策でクリーンボーイ（室内浄化機）による加湿を冬場1日1回以上行った。

経過、課題

健康状態のさらなる観察が必要となってくると思われる。身体変調等日頃の様子観察を怠らない、又看護との連携を密とし、細かいことでも看護に相談を行っていくと同時に、迅速な受診体制を構築する。

2) 活動

目的

- ・健康で規則正しい生活を行う。（健康維持・管理）
- ・生活にメリハリを付ける。

内容

- ・午前活動と午後活動に分けて実施した。午前クラブ活動では、月曜日～金曜日の午前実施。
きのこクラブ（11名）…ホダ木の移動（雨天、冬季はセンター内ウォーキング）
リサイクルクラブ（1名）…缶潰しプルトップ外し。
いきいきクラブ（9名）…園周辺のウォーキング
毎月最終作業日には月例会を行った。
- ・午後活動は主に散歩を行った。

経過、課題

- ・クラブ活動も2年目に入り利用者也落ち着いて参加できるようになった。しかし個々に適し

た配置に付くことが難しく今後の課題だろう。

- ・体調不良などで活動不参加になった方もいたが、一年を通じて全員クラブ活動に参加することができた。
- ・午後の活動が今年度もウォーキング中心となったが、ウォーキング以外のレクリエーション的な取り組みがほとんど出来なかった。来年度は利用者の方が、楽しく過ごせる時間を提供できるようにしたい。

3) 個別活動

目的

- ・個々に合ったことを楽しみながら行い、安定を図る。
- ・職員との関係づくり。

内容

毎週日曜日のお昼に家へ電話をかける。(1名)

毎週日曜日、職員と一緒に1週間のカレンダー作り。(1名)

ワープロ(1名)

ラジオ、音楽鑑賞(1名)

1回/月 外出(2名) 内容~ドライブ、買い物、図書館

午後からはスヌーズレン(2名程度)(ありのままの自分を楽しめるよう、光、音、におい、振動、温度、触覚、様々な五感に優しく訴えることのできる、美しく備えられた空間作りをし、利用者の方の、ペースや興味や気持ち良さを、けっして損なわないよう、ゆったりと利用者の方の側にいて、支援者も心地良い体験を十分楽しむための取り組み)

経過、課題

- ・個別を行うことによって楽しみ、励み、安定に繋がっていると思う。
- ・今年度は全員を対象に個々に合った個別を考えていたが実行できなかった。時間、場所、個別の内容、職員の配置など考慮して来年度は実施できるよう考えていきたい。また、外出することで励みや安定に繋がる利用者の方は個別外出できるよう考えていきたい。

4) 環境

目的

- ・建物備品の損傷にすばやく対応し、修復に努める。
- ・生活感のある空間を利用者に提供する。
- ・生活棟の衛生環境維持。

内容

- ・外泊期間中にグレーチング、フィルター、トイレ黄ばみ、倉庫の掃除、部屋の換気をした。
- ・壁や戸などの損傷箇所があった時には随時営繕を行い、二次的災害を防いだ。
- ・夏場毎週日曜にシーツ交換後人数を決め布団乾しを行った。
- ・毎週土曜には窓拭きを行った。
- ・トイレ、居室の掃除など衛生的に過ごせる生活棟を維持するため、道具の整備、補充を行った。
- ・スポンジタイプのモップを購入しすばやく対応できるように整えた。臭いも軽減した。
- ・クリーンボーイ(室内浄化機)を使用して、居室の脱臭・除菌を行い、冬場は毎日1~2回程度、生活棟内の加湿も行った。

- ・倉庫の衣類など、分けて分かりやすいように保管・表示した。

経過、課題

- ・損傷箇所を営繕したすぐ後にまた同じ場所を壊される事が何度かあり、対応に苦慮することがあった。
- ・壁の損傷（穴など）が多かったが営繕係に頼んで修復してもらった。
- ・リビング天井にスピーカーを設置。体操時の音楽が全体に流れるようになった。
- ・トイレの臭いを少しでも軽減出来るようにこまめにチェックし、掃除や対策を考えていきたい。

3 行事

1) 誕生会

目的

- ・月毎の誕生者をレインボー利用者全員で祝う。
- ・誕生者は自分が祝ってもらっていると言うことを雰囲気から感じる。

内容

- ・食堂で音楽や歌を唄いケーキとコーヒーを頂いてお祝いをした。

経過、課題

- ・ケーキとコーヒーを前のテーブルにセットして、お祝いの歌や挨拶が済んでから提供した。
- ・誕生者の方は他の利用者とは別な席に座って頂き、テーブルクロスをかけ、自分の誕生日を認識してもらった。
- ・ラジカセで音楽を流し、歌を唄い、手拍子や拍手をして誕生日を祝った。

2) 誕生者外出

目的

- ・自分の誕生日だということを少しでも感じてもらえる外出を提供する。

内容

- ・誕生日の日に午後から外出をする。

誕生日	年齢	誕生者外出先
4月16日	42歳	コンビニ・みよし公園
4月23日	32歳	ナガタニ・喫茶店
6月17日	30歳	C・Cプラザ
7月27日	59歳	C・Cプラザ
7月27日	40歳	みよし公園・コンビニ
8月5日	43歳	C・Cプラザ・みよし公園
8月9日	42歳	三次運動公園・コンビニ
8月31日	39歳	喫茶店・君田遊園
9月28日	45歳	庄原ジョイフル
10月9日	33歳	喫茶店・布野道の駅
11月3日	36歳	コンビニ・上野公園
11月10日	39歳	C・Cプラザ・ナガタニ
11月20日	43歳	甲田町図書館・ドライブイン田園
11月24日	41歳	C・Cプラザ

11月26日	37歳	C.Cプラザ・みよし公園
12月13日	35歳	C.Cプラザ
12月25日	51歳	布野道の駅・大柳文化公園
1月19日	38歳	ココス・ドライブ
2月10日	21歳	コンビニ・遊遊ランド
2月15日	30歳	コンビニ・みよし公園

経過、課題

- ・自分の誕生日を理解されている方は少ないが、自分で希望できる人は希望に沿った外出を提供できたと思う。
- ・ケーキセットや好みの食べ物でお祝いをしたり、欲しい物を購入された方もおられた。
- ・誕生日の外出と、それ以外の外出との区別がつかない方もおり、誕生日だと言う事を少しでも感じてもらえるような外出にしていける事が課題である。

3) レクリエーション

目的

- ・季節感のあるレクリエーションを提供する。

内容

4月14日	花見会（園芸ハウス横広場）
8月4日	夏祭り（多目的棟）
12月9日	忘年会（プレイルーム）
1月9日	新年会（プレイルーム）・初詣（出雲大社三良坂分院）
2月9日	お楽しみレク（センター）

経過、課題

- ・季節の行事を行うことで、四季の移り変わりを感じてもらえたと思う。
- ・全体的に天候にも恵まれていた。
- ・2月には初めて「お楽しみレク」を行ったが、宝探し等のゲームも皆さん喜ばれ参加されていた。
- ・例年3月の打ち上げ会はバスドライブに変更した。

4) バスドライブ・バスハイキング

目的

- ・利用者全員で好きな缶飲料を自動販売機で購入して飲む。
- ・ドライブすることによって気分転換をはかる。
- ・屋外でお弁当を食べて楽しむ。
- ・ハイキングする事で季節を感じる。

内容

- ・レインボー会議の午後からマイクロバスでドライブし、自動販売機で自分の好きな缶飲料を購入してもらったり、昼食のお弁当を持ってドライブし、山や公園で食べたり、散歩や遊具で楽しんだ。

月 日	行き先	参加人数
5月12日	高谷山	21名

6月 9日	尾関山	21名
7月14日	風土記の丘	21名
9月 8日	君田遊園	20名
11月10日	風土記の丘	20名
3月 8日	みよし公園	21名

経過、課題

- ・利用者は大変楽しみにされておられた。
- ・遠出は利用者の落ち着きがなくなる為場所が限られてしまった。
- ・体調不良や誕生者外出が重なり、参加出来ない方がおられた。
- ・3月の外出では途中、ハンバーガーを購入し提供。皆さん喜ばれていた。
- ・利用者の中には、特定のコーヒーではないといけない方がいるので配慮すると、どうしても行き先が同じ場所になってしまいがちだが、今後は工夫も必要だと思う。

5) 外出

目的

- ・外出することにより気分転換をはかり、通常生活の励みにする。
- ・好きなものを購入したり、食べたりして外出を楽しみ、職員との関係をつくる。

内容

月 日	内 容
5月15日	カフェ外出：みよし公園 コンビニ
5月16日	ランチ外出：風土記の丘 レストラン
5月18日	カフェ外出：マクドナルド みよし公園
6月 5日	カフェ外出：上野公園 庄原ジョイフル
6月21日	ランチ外出：CCプラザ 娯楽荘ボウル
7月12日	ランチ外出：庄原ジョイフル 上野公園
7月17日	ランチ外出：サングリーン 常清滝 ジョイフル
7月24日	カフェ外出：ハーブ園 コンビニ
9月 4日	ランチ外出：コンビニ 吾妻山国民休暇村
9月14日	ランチ外出：ハーブ園 備北丘陵公園
9月20日	ランチ外出：尾道市立図書館 ファミレス
9月25日	カフェ外出：フタバ図書 みよし公園
10月18日	ランチ外出：常清滝 みよし公園
10月25日	カフェ外出：マクドナルド みよし公園
11月27日	ランチ外出：ジョイフル サングリーン みよし公園
2月12日	カフェ外出：CCプラザ
2月26日	カフェ外出：コンビニ TSタカタサーキット
3月10日	カフェ外出：サングリーン
3月13日	ランチ外出：ジョイフル 庄原上野総合公園

経過、課題

- ・外出して好きな物を購入したり、好きな物を飲食され皆さん嬉しそうにされていた。

また、通常の生活の励みにされている人も数名いた。

- ・学園内では見られない表情や動作もあり、いろいろな発見も多くあった。また、1対1の外出だったので 関係づくりもできたのではないかと思う。
- ・来年度は外出する回数をもっと増やしていきたい。また1対1ではなく複数人数で1日かけた外出も考えていきたい。
- ・利用者に負担にならない、また何を外出で求めているのかをよく考えて、個々に合った計画を立てていきたいと思う。

6) 親子レクリエーション

目的

利用者・ご家族・職員の親睦を深め楽しい時間を一緒に過ごす。

場所

平田観光農園(ぶどう狩り)

内容

利用者・ご家族・職員一緒に集まってお弁当を食べ、果物狩りや面談をして過ごす。

経過・課題

ぶどう狩りを行う時期としては少し遅かったが、農園で配慮して頂き貸しきりで行えた。天候も良く、ぶどう・お弁当が美味しく家族でのんびりできたという意見が多くあった。課題はご家族・利用者ともに高齢化が進んでおり長い距離を歩く事やゲームを行うどの身体を動かす事がしんどくなってきたという意見があり、果物狩りが利用者も喜ぶという意見が多くあった。

5 職員会議

目的

- ・利用者のQOLを高めるため、個別処遇、日課、環境、各活動について課題を定義検討し、取り組みについての意識統一を図る。
- ・園長・事務長・支援部長・看護課・栄養課との意見交換、情報交換を行う。

内容

- 4月 服薬方法について 日課の確認 ケースカンファレンス
- 5月 ちり紙の使用について 服薬時の確認 ケースカンファレンス
- 6月 テレビ、リモコンについて トイレ掃除について ケースカンファレンス
- 7月 ケースカンファレンス 人権について
- 8月 入浴時の個別対応について 薬のチェックについて ケースカンファレンス
- 9月 食事の個別対応について 親子レクについて ケースカンファレンス
- 11月 人権について 散歩時の人数確認の徹底 ケースカンファレンス
- 12月 施錠の確認 活動時の更衣について ケースカンファレンス
- 1月 人権について ケースカンファレンス
- 2月 人権について トイレ掃除について 係のまとめ ケースカンファレンス
- 3月 人権について 嗜好調査について ケースカンファレンス

経過、課題

- ・今年度は全員のケースカンファレンスができなかったが、直ぐに対応しなければいけない利用者についてはその都度話し合いをし支援方法を考えた。

- ・連絡事項だけで終わってしまう事が多かった。また他の部署との意見交換が少なかったので来年度は積極的に意見交換をしていきたい。
- ・議題の提案を早めに行い、それぞれが考えをまとめて参加し、利用者のより良い生活が送られるよう意見を出し合い討論出来る場にしていきたい。

6 まとめ

今年度はクラブ活動も定着し利用者の方も混乱する事なく落ち着いて参加出来た。しかし活動部署についてはより個々に適した配置を考慮したい。

食事、入浴など個別配慮を行い、時間がかかる方、特に支援の必要な方には早めに行って頂く事で、より支援できるよう時間設定した。

環境面でもトイレを中心に生活棟内の掃除の徹底を行い、清潔な環境づくりに努めた。

利用者の方が落ち着いて安心して過ごせる環境づくり、個々の対応方法について利用者の立場に立って考え、柔軟な対応、職員の関わり方について日々考えて支援したい。

(藤田由香里、藤井智市、山下 誠、福永真也、野曾原光裕、岩戸洋三、高場修治、若床まゆみ、竹間和輝、相川敦美)

4 はなまるグループ

- 1 ・利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援する。
・清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

2 生活

1) 生活全般

目 的

- ・基本的な生活習慣の確立を目指すための、個々に応じた関わり、援助を行う。

内 容

- ・お茶の提供を、クラブ活動後と入浴後に行った。
- ・衣替えを6月と10月に行なった。
- ・全員の敷き布団の交換を行った。
- ・掃除は、毎週土曜日に各居室のモップ掛けや、雑巾掛けを行った。
- ・口腔内衛生を保つ為、昼食後にコンクール液を使い、職員が歯磨きの仕上げを行った。
- ・食事前の手洗いでは、シャボネットを使っての手洗いを徹底した。
- ・食事準備は職員が行い、食堂掃除は当番を決めて行った。
- ・歯磨き粉、歯ブラシ等の消耗品は、無くなり次第補充した。
- ・居室の棚を活用して、私物の管理ができる方にはして頂くようにした。
- ・ジャンボトイレットロールを使用し、使用状態を調べた。
- ・洗濯物を7廊下、6廊下に分けて洗濯をした。

まとめ

- ・基本的な生活習慣の確立には、あせらず利用者一人一人に合った対応をしながら、一方的な援助にならないよう意志の疎通を含め、コミュニケーションをとりながら一歩ずつ進んでいけたらよいと思った。
- ・口腔衛生についても、昼食後のコンクール仕上げをすることで、口腔内の状態の把握に努め

た。歯ブラシの消耗が激しいので、早めの交換が必要だった。

- ・ 食堂掃除は、今、4名の利用者で当番を決めて行っている。朝食、昼食後についてはクラブ活動として行っており、担当者1名で行っている。
- ・ 衣類整理時の紛失等のトラブルが数件あったが、大きなトラブルになることはなかった。
- ・ 衣類の補充、更新には確認と支援が必要であった。
- ・ 洗濯物を分けることで、衣類の紛失や衣類整理の時間の短縮につながった。

2) 環境

目 標

- ・ 快適に過ごせる環境整備を行う。
- ・ 建物、建具の損傷、対応、補修、修繕を行う。

内 容

- ・ フィルターの清掃、排煙窓の網戸の清掃。
- ・ 壁や建具など破損箇所の修繕作業。
- ・ スチールドア廻りのペンキの塗装。

まとめ

- ・ フィルターの清掃及び排煙窓の網戸の清掃をすることにより生活空間を快適にし、害虫やくもの巣などを減らす事が出来た。
- ・ 比較的破損箇所は少なかったが、応急処置のままだった壁の補修を行った。
- ・ ドア枠のペンキをタッチアップすることで見た目にも良くなった。
- ・ 洗面所やトイレなど水捌けが悪いシンクは排水パイプを分解し、洗浄する事で悪臭の防止にもなった。
- ・ 今後も快適な生活環境を提供出来るよう取り組んでいきたい。

3) 衛生

目 的

- ・ 皮膚疾患の予防と対応
- ・ 健康維持

内 容

- ・ 入浴後も含め指示された軟膏塗布・消毒を確実に行う。
- ・ 衛生日を毎週日曜日に設け、爪切り・耳かき・血圧測定を実施。
- ・ 個々の健康状態の把握に努め、看護師との連携を深め、迅速な処置、必要な受診を速やかに実施できる体制作りを努めた。
- ・ 午前・午後のクラブ活動終了後、手洗いとうがいを徹底した。
- ・ 食事前の手洗い、手指消毒を徹底した。
- ・ 毎月1回体組成測定を行い、肥満防止・健康管理に努めた。肥満傾向の方には個別に時間を設定、ウォーキングを実施した。少しずつではあるが、健康状態の改善効果が見えている人がいる。

まとめ

- ・ 入浴後の軟膏塗布は定着していた。
- ・ 個別に塗り薬を用意し、保湿と予防に役立てたが、特に踵の荒れに効果があった。
- ・ 体調の悪い人には早めに対応し、配慮できたが、自分から体調の不調を訴えることが難しい

人に対しては日頃の様子観察から把握、発見できない事例もあり、今以上の健康状態の把握方法を考えたい。

- ・手洗いとうがいは徹底して行ったので、定着し、体調を崩すケースは少なかった。集団での生活なので、特に冬季、季節の変わり目には風邪の発生、広がりには抑えられないのが現状であった。しかし、風邪を引いても長引かない人が増えたのは日頃からの予防の成果だと思う。
- ・毎週日曜日の爪切り・耳かき、血圧測定は健康状態の把握の1つになった。
- ・食事や睡眠時間に注意を払い、毎日の生活が精神的、肉体的に安定した状態で規則正しい生活を過ごして頂けるように努めたい。

4) 歯磨き

目的

- ・歯肉の状態の改善、歯垢の付着を防ぐ、歯周病を予防する事を支援し、健康で美味しく食事をして頂く。

内容

- ・毎週日曜日午後6名づつ、ひと月で24名全員の歯磨きができるように計画した。

まとめ

- ・毎週日曜日に行い、一年間を通し一人12回の歯磨き支援が行なえた。
- ・歯磨き支援で、虫歯の発見や予防歯肉の状態の改善に努めた。
- ・口臭の改善が見られ、風邪の予防にも繋がった。

5) 食生活

目的

- ・楽しみでもある食事、飲み物の提供で落ち着いた生活を支援する。

内容

- ・午前の間食コーヒーは月曜日から金曜日は朝の集いの後に、土曜日と日曜日(休日)は集いの前に行った。健康面の再確認と本人の希望によりブラックで飲まれる方、砂糖、ミルクを入れて飲まれる方と決まっている。多くの方がコーヒーに砂糖、ミルクを入れて飲まれている。アイスコーヒーを希望される方の為に、厨房にある製氷機の氷を使い対応している。
- ・午後からは、センターの大作室で50円を使って自動販売機にて飲み物を購入し、お菓子と一緒に間食にしてもらった。間食は混乱無く楽しまっている。
- ・食事面での支援では、朝食に出る牛乳が苦手な方へは、紅茶、砂糖を少量牛乳に入れてミルクティーにして提供をしている。
- ・食事の時に興奮される事がある方には、食器をメラミン樹脂性の物に交換し提供している。
- ・会話や食事が苦手な方に訓練の為、食事の時にプレートを付けてもらっている。
- ・お茶の提供は午前のクラブ活動後、午後のクラブ活動後、クラブ活動のない日は午前午後の日課後、食事の時、午後8時に行っている。就寝前の午後8時には湯呑みに2杯、それ以外はコップに1杯、提供している。
- ・誕生日には自分の希望する献立を提供している。

まとめ

- ・食事、飲み物の提供を通して、安定した生活を送って頂けるように支援したい。
- ・食事、間食とも、ゆっくり食べて頂くように支援して食事時間を充実させていきたい。

6) ホームページ

目的

- ・日常生活の様子をご家族を含め多くの人に発信していく。

内容

- ・日々の活動や生活の様子を定期的にアップロードする。
- ・定期的に壁紙やアイコンを季節に応じた物に変更する。

まとめ

- ・できごとのアイコンなどを定期的に変更し、季節感をだし楽しそうな雰囲気を出してみた。
- ・撮影対象者の一ヶ月ごとの表を作成した。
- ・ホームページをもう少し見やすく、インパクトのある物に変更することが今後の課題である。

3 日 課

1) クラブ活動

目的

- ・健康で規則正しい生活をする。
- ・生活にリズムをもたせる。

内容

- ・リサイクルクラブ 9名
アルミ缶潰し。
- ・クリーンクラブ 4名
食堂やセントートイレの掃除。洗濯済みの衣類をたたんで仕分け。
- ・フラワークラブ 10名(花班4名、野菜班6名)
園芸での花栽培。しいたけの植菌。花壇とグラウンドの管理。

まとめ

今年度からの新しい取り組みとしてリサイクルクラブが設定された。初めのうちは慣れない様子だったが、一年を通じて皆さん格段に上手になられた。フラワークラブも花班、野菜班に分かれての活動となったが、一緒に活動をしている場面が多くあり、目的を絞った取り組みをする必要性を感じた。利用者ひとり一人が興味を持って楽しんで取り組める活動を目指し、活動内容等を充実した物にしていきたい。

2) グループ日課

目的

- ・クラブ活動以外の時間を有効に使うための内容を提供する。

内容

- ・ビデオ鑑賞... 8名の方に交代でビデオレンタルに出かけていただいた。前年度から引き続いた方の為、特に混乱無く外出を終えられた。又、事前に借りてみたいビデオを聞いておくことで、スムーズにビデオレンタルに繋がった。DVDの普及からビデオだけでなくDVDのレンタルも勤めている。
- ・カラオケ...歌わなくても聴いているだけの人もいるが、音楽の好きな方が多く定着している。
- ・運動...毎月、土日の午後(行事、ビデオ、カラオケ以外の時間)に実施。
球技大会、体育祭に向けて練習。ウォーキングの実施。

まとめ

- ・自分の部屋で自分だけの時間を過ごされている人が多かった。
- ・多くの人に興味を持ってもらえるように、内容や動機付けを工夫する必要がある。
- ・雨天時、冬の時期でも簡単に出来る運動メニューを増やしていくことが課題である。

4 行事

1) レクリエーション

目 的

- ・季節に応じた行事やレクリエーションの提供。
- ・利用者楽しんで頂ける内容になるように計画する。

内 容

- ・4月21日 お花見会
今年度最初の行事を学園内で行う。曇り空ではあったが、園芸ハウス横広場で全員揃って会食をしてもらった。
- ・7月21日 バスハイク
せら夢公園へお弁当を持って出かける。天候も良く、皆さん散策などを楽しまれた。
- ・11月3日 藤兼祭り
毎年恒例の行事に参加する。神輿を担ぐ時は、皆さん元気良く声を出し、担ぐことが出来た。
- ・12月22日 忘年会&クリスマス会
センタープレイルームで行う。ビールやジュースも提供し、会食を楽しまれた。クリスマスカードを担当職員から渡すと嬉しそうにされる方、あまり興味をしまされない方と様々だった。カラオケ大会も大いに盛り上がった。
- ・1月26日 新年会
センターで会食をする。ゲームやカラオケ大会があり、笑顔が絶えなかった。
- ・3月16日 打ち上げ会(バスドライブ)
みよし運動公園へお弁当を持って出かける。天候も良く、散策を楽しまれた。

まとめ

- ・一年を通して楽しみにされている行事なので、一人一人の意見などを聞きながら、生活の励みとなるよう、内容を検討していきたい。

2) ビデオレンタル

目 的

- ・自由時間を利用し、借りてきたビデオを鑑賞する

内 容

- ・前年度と同じ方に代表してレンタルへ行ってもらった。

まとめ

- ・毎月のビデオレンタルは皆さん楽しみにされており、気分転換にもなった。借りに行く際、多くの方から希望を聞いているが、毎回同じ方からの見たい物の希望が多く、なるべく多くの方から希望を聞くようにしたい。特に、ビデオ鑑賞にあまり興味を示されない方からの希望を聞き、今後も楽しめる内容を検討していきたい。

3) 宿泊旅行

目 的

- ・非日常的な環境を体験する事によって、リフレッシュして日々の生活の意欲に繋げ、社会性

を身につける。

- ・利用者の趣味や希望に添った場所を計画する。

内 容

月 日	参加人数	場所
5月23日～24日	4名	岡山おもちゃ王国、福山動物園
6月29日～30日	4名	広島市民球場、大和ミュージアム、てつのかじら館
7月18日～19日	4名	広島現代美術館、みろくの里
8月29日～30日	4名	倉敷チボリ公園、岡市カプトガニ博物館
9月26日～27日	4名	岡山おもちゃ王国、ドイツの森
10月17日～28日	4名	周南市徳山動物園、ソレイユ、錦帯橋

まとめ

- ・一泊二日の小旅行であったが、利用者の希望や好み、季節感を味わう旅行ができたと思う。
今年度の反省点を活かし今後も利用者の希望・状態に応じた楽しい時間を支援していきたい。

4) 外出

目 的

- ・希望に添った外出を行い、落ち着いた時間を過ごす。

内 容

月 日	参加人数	場所
5月19日	4名	せらふじ園
6月 9日	1名	ユーホー・ダイソー・森の泉(君田)
16日	3名	サングリーン
7月28日	3名	みよし風土記の丘・コンビニ
8月 4日	3名	CCプラザ・三次運動公園
9月 8日	2名	サングリーン
15日	2名	道の駅 みわ375
30日	4名	庄原ふれあいセンター ジョイフルショッピングセンター
10月27日	3名	庄原伍楽荘ボウル・庄原ジョイフル
11月 4日	4名	河内ふれあい祭り
24日	3名	サングリーン・ダイソー・マクドナルド
12月 7日	1名	ダイソー・森の泉(君田)
15日	3名	吉田ゆめタウン・しまむら
1月12日	4名	カラオケパル
2月 9日	2名	CCプラザ
16日	3名	喫茶店、セブンイレブン、ダイソー
3月 8日	3名	サングリーン・ダイソー・マクドナルド
22日	4名	サングリーン・ダイソー・ワイナリー

まとめ

- ・皆さん楽しみにされている時間であり、混乱することなく、落ち着いた外出が出来た。

引き続き、希望に沿った外出を計画実施していきたい。

5) 親子レクリエーション

目 的

- ・家族と利用者、職員の親睦を深め、楽しい時間を過ごす。

内 容

- ・日時 平成19年10月8日(月) 10時30分～15時30分
- ・場所 センタープレイルーム
- ・センタープレイルームでのオリエンテーション後、ゲーム(人間ボーリング)の説明を行いゲームを始める。昼食後は、山へ散策へ行く。

まとめ

- ・20家族31名のご家族の来園の頂き、開催する。
初めは、パークゴルフを予定していたが、雨天の為、室内での開催となった。
案内状に雨天時の予定を入れていなかった為、ご家族から電話での予定を聞かれることがあった。来年度へ向けての反省としたい。ゲームももう少し、時間設定を考えた物を準備したい。ご家族の皆様もゆっくり過ごせたと喜ばれていた。

5 はなまる会議

目 的

- ・利用者の生活向上と充実したサービスの提供を目指し、環境・個別処遇・各活動についての課題を提起検討、ケースカンファレンスを行い、支援についての意識統一と利用者に対する理解を深める。
- ・各セクションとの意見交換、情報交換、協議。

内 容

- 4月...レク、ケースカンファレンス、日課の流れ、今年度の体制について
- 5月...ケースカンファレンス、クラブ活動、確認事項、日課の流れについて
- 6月...センターの管理、トイレの黄ばみ対策、クラブ活動について
- 7月...人権委員会(食事場面)、レク、クラブ活動、トイレ掃除について
- 8月...人権委員会(クラブ活動場面)、親子レク、ケースカンファレンス、体育祭について
- 9月...クラブ活動、親子レク、ケースカンファレンス、センター管理、人権委員会(プライバシーの侵害)について
- 11月...ケースカンファレンス、クラブ活動、レク、トイレトーパー、人権委員会(プライバシーの侵害)について
- 12月...トイレトーパー、ケースカンファレンス、クラブ活動、人権委員会、レク、居室掃除、センターの掃除について
- 1月...集い後の体操、人権委員会、レク、ケースカンファレンス、トイレトーパー、クラブ活動について
- 2月...人権委員会、クラブ活動、レク、生活、確認事項につ
- 3月...レク、提出物、ケースカンファレンス、人権委員会(まとめ)、クラブ活動、確認事項について
- ・会議前には、議題を提供し各自の考えをもって会議に臨むようにした。その他、迅速な対応を必要とする物に関しては、社内メールを通じて協議し、速やかな対応を行った。

まとめ

- ・利用者に安心して快適な生活を提供するために、課題が発生したときには随時各部署、スタッフ間で協議をしてきた。個々の利用者に対し、適正な支援、サービス、環境が提供できるように、スタッフ間や各部署との協議、確認、情報の共有化をはかるようにしてきた。

特にケースカンファレンスとクラブ活動については、毎月の確認事項に上げて職員間の共通理解を深めることに努めた。

今後も、人権と個性を尊重した健康で豊かな生活を提供していきたい。また、職員間の連携とレベルアップに繋がるような活発な意見交換の場となるようにもしていきたい。

6 まとめ

利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援すること、清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供することを目標に、この一年取り組んだ。

はなまる会議での個別処遇の確認、日課や行事、衣類の補充・管理、衛生的で使いやすい環境の整備など、生活しやすく、利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供することに重点を置き、必要に応じて協議と改善に取り組んだ。

個室での自分の時間と空間が保証され、希望に添った外出や旅行、季節感のある行事を実施することが安定した日課への参加へと繋がった。

今後も、安定した日課への参加には欠かせない健康的な生活に重点をおいて支援をしていきたい。

健康的な生活とは、精神的にも身体的にも健康であることは言うまでもなく、体調の不調や変化を発見するには、日々の観察はもちろん、表情、行動、態度から些細な変化も見逃さないように、また、けがや事故のないよう精神面も含めた健康状態の把握が必要である。

利用者との信頼関係を深め、ひとり一人の快適で安心な生活環境を保証し、人権と個性を尊重した健康で豊かな生活を支援、提供して行きたい。

(香川直規、塚本博志、片原陽一、山野本恵美、山地恵子、魚見敏満、岩岡直幸、掛川陽介、佐々木拓実、兼藤克則)

5 園内行事

- ・一年を通して季節を感じる行事を考え、全体行事として学園内で計画実施した。
- ・学園内又は周辺的环境整備を計画実施した。

1 合同バスハイク

日時 平成19年 5月 3日 火曜日 13時00分～15時30分

場所 土師ダム

内容 利用者28名・職員10名

時間の設定に余裕が無く、入浴時間を過ぎての帰園となったので少し近めの場所を設定するようにすれば良かったと感じた。

2 木下サーカス観覧

日時 平成19年 5月11日 金曜日 10時 5分～17時00分

場所 広島市西区商工センター

内容 利用者20名・職員7名

皆さん楽しそうに観ておられた。席が端の方だったが迫力、スリルなど学園では体験出来ない

気分を味わう事もできた。

3 草刈り（1回目）

日時 平成19年 6月14日 木曜日 8時00分～11時00分

場所 県道39号線 水路沿い山側約2m範囲と水源井戸周辺

内容 職員4名

小雨の日だったが実施。水路の草刈り、草集めを、無事終了することが出来た。

4 大掃除・ワックス掛け

日時 平成19年 8月11日 土曜日 9時10分～15時30分

場所 ともえ学園・療育センター

内容 職員31名

スムーズに行うことができた。また、今回は洗面所、トイレのグレーチングも掃除をすることができた。センター大作業室は剥離剤を使用し綺麗にすることができた。

5 全体活動

日時 平成19年12月30日 日曜日 9時10分～15時30分

場所 療育センター プレイルーム

内容 参加利用者34名・職員3名（昼食時4名）

カラオケとゲーム機を設置し行った。皆さん落ち着いていた。プレイステーション2に何名かの利用者が興味を示され、ゲームに興じられていた。

6 合同バスハイク

日時 平成19年 8月13日 月曜日 13時00分～15時30分

場所 灰塚ダム

内容 参加利用者27名・職員7名

暑い一日であった。時間的に丁度良い行程で無理もなかった。ダム湖展望台では皆さんとてもリラックスされ、楽しんで頂けたのではないかと思います。

7 体育祭

日時 平成19年 9月22日 土曜日 10時30分～14時40分

場所 多目的棟前グラウンド

内容 参加利用者70名・54家族86名・職員28名

少し暑かったが、怪我や事故もなく利用者の方は落ち着いて参加できていた。配慮として、トラック内での競技を主体に組んだ。時間通り終わる事が出来た。

8 草刈り（2回目）

日時 平成19年 10月29日 月曜日 8時00分～11時30分

場所 県道39号線 水路沿い山側約2m範囲と水源井戸周辺

内容 職員5名

時間内に水路沿い、水源井戸周辺、FOX周辺の草刈りが出来た。今回は水路に草や苔が沢山生えていた。草集めは10時40分に終了した時点で1名は作業終了して通常日課に入った。他4名は予定時間まで行った。

9 ボランティア：アコーディオンコンサート

日時 平成19年10月30日 火曜日 14時00分～15時00分

場所 センタープレイルーム

内容 演奏者と付添案内者2名 参加利用者70名 職員15名 実習2名

職員は各グループの席に入り、共に約40分のコンサートを楽しむことが出来た。利用者さんからお礼の言葉と花束贈呈があった。殆どの方が最後までアコーディオンの音色を聞くことが出来ていた。今後又、このような機会が出来れば皆さんに提供し、共に楽しんで行きたい。

1 0 大掃除、ワックス掛け

日時 平成19年12月30日 日曜日 9時30分～15時30分

場所 ともえ学園・療育センター

内容 職員27名

前回の掃除で集めた参考意見を取り入れ、よりスムーズに行えた。大作業室は剥離剤を使用し綺麗にすることができた。

1 1 全体活動

日時 平成19年12月30日 日曜日 9時10分～15時30分

場所 療育センタープレイルーム

内容 参加利用者31名 職員 午前、午後各3名(昼食時のみ4名)

ワックス掛け中、センタープレイルームで過ごす。カラオケとゲーム機(プレイステーション2)を設置し楽しむことができた。

1 2 平成19年職員納会

日時 平成19年12月30日 日曜日 17時20分～17時30分

場所 ともえ学園 会議室

内容 この一年の仕事について相互に感謝と慰労と新年の健康を祈念。

年末にあたり1年間の各部署総括と年末慰労挨拶が行われ三本締めで最後を締めた。

1 3 合同初詣

日時 平成20年1月3日 曜日 14時00分～15時30分

場所 天津神社

内容 参加利用32名 職員9名

天候が悪かったが、ほぼ予定通りに実施する事が出来た。皆さん落ち着いて参拝と集合写真の撮影が出来たが、気温は低く雪模様だった為、早めに車へ誘導した。

1 4 年賀式

日時 平成20年 1月7日(月) 10時00分～11時00分

場所 食堂

内容 参加利用者全員 職員27名

今年初めての行事、年賀式を実施、園長より年頭の挨拶があり、年男7名の紹介と年男代表の挨拶が行われた後、鏡開き、ジュースで乾杯、拍手を持って、ともえ学園年賀式を終了した。

終了後、お祝いの紅白まんじゅうと缶の飲み物が利用者さんに配られた。

1 5 餅つき

日時 平成20年 1月19日 土曜日 10時00分～11時30分

場所 プレイルーム

内容 中国電力青年部の方7名 参加利用者69名 職員21名

年男の利用者の席を準備した。餅つきの希望者が多かった。「ヨイショ」のかけ声で餅つきの雰囲気があじわえた。中国電力の組み体操もあり、拍手や笑いがあつた。利用者の方は落ち着

いて参加され、とても楽しい餅つきになった。

中国電力の方の昼食はセンター和室で、お餅を準備し提供した。

1.6 とんど

日時 平成20年 1月19日 土曜日 13時30分～14時45分

場所 日勤駐車場方面空き地

内容 中国電力青年部の方7名 参加利用者70名 職員26名

年男7名がトーチを持ちとんどに点火した。書き初めをとんどで燃やしたり、お餅を焼いて、ぜんざいやきな粉が配られた。希望者には竹酒も振る舞われ一年間の無病息災を願い無事に終えることが出来た。

1.7 節分祭

日時 平成20年 2月 3日 日曜日 14時00分～15時30分

場所 食堂

内容 参加利用者全員 職員15名

鬼に扮した職員が持ったカゴにボールを投げ込むゲームを楽しんだ。ゲームの表彰式もあり終了後には、飲み物と甘納豆が配られ無事に終えることが出来た。

1.6 ひな祭り

日時 平成20年 3月 3日 月曜日 13時30分～15時30分

場所 食堂

内容 参加利用者68名 職員17名

ひな祭りの由来等説明後、女性の紹介4名の利用者さんと女性職員一人ずつ起立してもらい盛大な拍手をした。ひな壇飾り付けゲームとBGMで場は盛り上がった。各グループ対抗で事前に利用者さんと職員合作のひな人形を飾り付け、3つのひな壇を完成させた。

ひな壇をみながら「うれしいひな祭り」を全員で斉唱。白酒が参加者全員に配られ乾杯した。

最後に利用者さんには菱餅ゼリーと缶飲料が配られ、無事ひな祭りを祝い終了した。

(宮崎静美)

6 対外行事

他施設や地域の人々との交流と親睦を深めると共に地域社会の理解を深める事を目的に実施。

1 西部ブロック親善球技大会

日時 平成19年5月20日(日) 9時50分～15時20分

場所 広島市立大学 野球場及び体育館

参加状況 参加利用者全員 21名 支援職員 9名

利用者 ゲート通し (団体) トライアングル 3名

ゲート通し (団体) はなまる 3名

卓球 (個人) はなまる 3名

円形ドッジ はなまる 8名

トライアングル 2名

フライングディスク はなまる 2名

職員 実行委員 1名 審判員 1名

支援職員 フライングディスク 2名

ゲート通し	1名
円形ドッジ	2名
卓球	2名

結果 卓球個人の部 1位と2位 ・フライングディスク7M 2位

過ごしやすい気候だった。服装については、ジャージ上下を着用し、中には半袖シャツを着て、暑さ、寒さへの対策を行うことができた。

体調不良者も出ることなく競技に参加することが出来た。

今年度も西部ブロック親善球技大会に参加という、大きな大会に参加させて頂き、他施設の関係者をはじめボランティア、地域の皆様方からは温かい支援をいただきました。

利用者の方もこの大会に向けて日頃より運動に取り組み頑張っておられます。

今後も対外行事等を通じて他施設や地位との交流を深めて行きたいと思っています。

(宮崎静美)

7 外泊

1 定例外泊

4月29日(日) ~ 5月5日(土)	ゴールデンウィーク	44名
8月10日(金) ~ 8月17日(金)	お盆	45名
12月29日(土) ~ 1月5日(土)	正月	46名
3月30日(日) ~ 4月6日(日)	春	37名

それぞれ約1週間の外泊で、日付は固定とし、広島、福山、呉、大竹方面への送迎を実施した。

定例外泊以外にも、随時、ご家族の希望により外泊を実施している。

(宮崎静美)

8 医療

1 具体的重点事項

健康管理、検査の徹底

疾病の早期発見と早期治療につとめる

歯の健康、治療の徹底

感染症対策を充実する

薬の管理

医学用語の啓発と習得

救命救急訓練

2 まとめ

健康管理、検査の徹底においては生活習慣病予防の健康診断も含め利用者、職員の衛生健康管理を充実させた。特に健康診断では心電図検査を実施し服薬内容による副作用などで心臓負荷の有無・重症化した波形はないかなどの早期発見につとめた。また緊急を要する発作などに関しては薬の減量・増量・のむ時間・など安定されたバイタルにおいては降圧剤・利尿剤の作用を考慮し処方を選択を依頼した。

職員については35歳以上・35歳以下と政府管掌の指示のもと指定された医療機関への健康診断の充実をはかった。また勤務時間中におこる体調不良や怪我などは早急処置をほどこし安全に医療機関への受診を促し勤務に支障がでないよう配慮した。

歯の健康、治療では初期段階での観察をし予約、受診をこころみた。歯科検診を兼ねた歯周・虫歯治療の徹底や利用者の不安を少しでも軽減させるために付きそう介護・見守る介護・安全と絶対清潔操作などの治療である認識もおこたらず指導できた。

感染症対策では研修学習をとりいれてのカリキュラムや日々の清潔管理の指導をおこたらない支援職員の配慮で大事にいたらなかった。

薬の管理においては、紛失・朝と夕の誤薬・一包包装の数・包装内の錠剤の品番の確認などを重点におき調整をとった。

今年度新たに指導を指揮された取り組みについては、医学用語の啓発と習得を目標におき受診後のサイボウズ周知においては主事医からの説明を簡潔明瞭・正確・医学用語をできる限りとりいれ、わかりやすい用語におきかえ周知努力を全職員が習得した。申し送りなどでも多いに活用できるよう認識・意識を図った。

また緊急時の対処として、呼吸器・自動体外除細動器(AED)を使ってぬきうち訓練をとりいれ、転倒時の場合 声掛け・体位のとり方・器械と転倒者、術者の位置・器械の取り出し方・顔色・頸動脈・胸郭などの動き。呼吸の有無・四肢麻痺・四肢冷感・全身状態までの観察力などがどの程度すばやくでき指示がだせるかなどの訓練実施をおこなった。

人工呼吸器や(AED)も重要な役割で治療効果も高いが、実際に心停止・呼吸停止になった場合においては心臓マッサージ(心肺蘇生)など、人間の体を使っての(手と口)操作が優先有効であることが確認できた。

(瀬川澄恵)

9 栄養食生活

1 はじめに

衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、また個々に応じた細やかな配慮のある食事作りに努めた。

2 栄養量

生活活動強度は「やや低い」を用い、目標量と実質摂取量は次の表のとおりであった。

	目標量	実質摂取量
エネルギー (kcal)	2,250	2,273
たんぱく質 (g)	69.0	76.0
脂質 (g)	56.9	68.3
カルシウム (mg)	600	636
鉄 (mg)	7.5	10.8
ビタミンA (IU)	2,500	2,343
ビタミンB1 (mg)	1.23	2.91
ビタミンB2 (mg)	1.37	1.26
ビタミンC (mg)	100	119

3 食事形態

常食・刻み食・粥食・ミキサー食・低脂肪食・糖尿病食・エネルギー制限食・低蛋白塩分制限食を利用者に応じて提供した。

4 希望メニュー

利用者の個々の嗜好を取り入れるため、誕生日に利用者の希望のメニューを提供した。

- 4月：「カレーラーメン・コーヒーゼリー」「お好み焼き・コーヒーゼリー」「チキンライス・コーヒーゼリー」「親子丼」「カレーライス・コーヒーゼリー」「焼き肉丼・コーヒーゼリー」
- 5月：「とんかつ・コーヒーゼリー」「カレーラーメン・コーヒーゼリー」「唐揚げ・コーヒーゼリー」
- 6月：「ちらし寿司」「唐揚げ・コーヒーゼリー」「かつカレー・コーヒーゼリー」「かつカレー・コーヒーゼリー」
- 7月：「唐揚げ・フルーツゼリー」「焼きそば」「焼き肉」「唐揚げ・フルーツゼリー」「クリームシチュー・コーヒーゼリー」「かつ丼・コーヒーゼリー」
- 8月：「カツカレー・プリン」「チャーシュー麺・コーヒーゼリー」「カレーライス・バナナ」「冷しゃぶサラダ」「とんかつ・コーヒーゼリー」「焼きそば・杏仁豆腐」「牛肉とピーマンの炒め丼・コーヒーゼリー」「チャンポン麺・若布ご飯・コーヒーゼリー」「うな丼・コーヒーゼリー」
- 9月：「肉うどん・コーヒーゼリー」「とんかつカレーラーメン・杏仁豆腐」「かつカレー・コーヒーゼリー」「とんかつ・コーヒーゼリー」「かにグラタン・フルーツミックス」
- 10月：「ちらし寿司」「焼きそば・プリン」「オムのせちキンライス・ヨーグルト」「カレーライス・コーヒーゼリー」
- 11月：「肉うどん・」「海鮮丼・コーヒーゼリー」「唐揚げ」「カツカレー・コーヒーゼリー」「ハンバーグ・コーヒーゼリー」「とんかつ・コーヒーゼリー」「ポークカレー・フルーツミックス」「とんかつ・コーヒーゼリー」「牛丼・フルーツ缶詰め」「唐揚げ・コーヒーゼリー」「チキンカレー・ポテトサラダ・コーヒーゼリー」「かつカレー・ポテトサラダ・コーヒーゼリー」「ハンバーグラーメン・コーヒーゼリー」「ハンバーグカレー・コーヒーゼリー」
- 12月：「ミックスフライ・コーヒーゼリー」「揚げギョウザ・コーヒーゼリー」「カツカレー・コーヒーゼリー」「かにグラタン・コーヒーゼリー」
- 1月：「かつカレー・コーヒーゼリー」「刺身・コーヒーゼリー」「唐揚げ・コーヒーゼリー」「ラーメン・コーヒーゼリー」「とんかつ」「チャーシュー麺・プリン」
- 2月：「かつ・味噌汁・コーヒーゼリー」「ポークカレー・コーヒーゼリー」「唐揚げ・煮しめ」「焼きそば・フルーツヨーグルト」「唐揚げ・コーヒーゼリー」「カレーライス・コーヒーゼリー」「ラーメン・オレンジゼリー」「かつ丼・コーヒーゼリー」
- 3月：「カレーライス・コーヒーゼリー」「キムチラーメン・コーヒーゼリー」

5 間食

間食は、全グループ統一して提供した。

午前：コーヒー 午後：菓子

6 正月料理

毎年三が日は朝食の雑煮、そしてお節料理を提供し、今年度も実施した。

今年度も「鍋料理」を提供し、普段とは違った形式で、穏やかな雰囲気の中でゆっくりと食べて頂くことが出来た。

(後田喜代子)

1 0 事務

1 目標

外来者に対して常に明るく笑顔で接し、適切且つ迅速な対応に心がける。

電話受付では明確な対応に心がけ、速やかに関係部署に報告する。

緊急な事柄は速やかに口頭あるいは電話で報告する。

その他パソコンのサイボウズを利用して全員あるいは関連部署に配信する。

事務の正確かつ迅速な処理を行い、学園内外の連絡調整を徹底する。特にメールの送受信が可能な組織にはインターネットを利用し、迅速な処理を行う。

2 内容

事務

- ・ 支援費の請求、窓口での受付、入退所の手続き、利用者療育手帳・保険証・重度障害者医療受給者証の管理、各種印刷物の作成、各福祉事務所・行政機関との連絡調整、その他

庶務

- ・ 文書收受・発送、福利厚生、利用者預金管理、コピー機・コードレスホンの管理、その他

経理

- ・ 財務会計処理、利用料等の請求、親の会会計、物品購入、職員給与計算、調査統計、出張命令稟議作成、その他

3 まとめ

上記の業務については社会福祉法人ともえ会の諸規則、ともえ学園内規を基本として日々行ってきた。これからも原理原則を基本に、職員、利用者に信頼され、厳正でかつ平等に日々遅滞なく確実に遂行していきたい。

(古栗 慎・摺 智美)

1 1 午前日課活動

1 目的

- ・ 個々に合った活動を取り入れることにより張りのある生活へ繋げる。
- ・ 達成感や楽しみを感じてもらえるように活動の内容を工夫する。
- ・ クラブ活動を通じて、利用者の健康管理及び体力維持を図る。

2 内容

リサイクルクラブ 12名

- ・ アルミの空き缶を潰し、量がまとまると業者へ売却（月1回程度売却）。

きのこクラブ 17名

- ・ しいたけ栽培～ホダ木の伏せ込み、水槽浸け、ホダ場の整理。

フラワークラブ 18名

- ・ 花グループ しいたけの植菌、椎茸採取、花の苗の移植
- ・ 野菜グループ 木の移動、畑作り（土作り）...集合場所：センター大作業室

クリーンクラブ 4名

- ・ 掃除～生活棟と療育センターの掃除。
- ・ 衣類たたみ～洗濯済み衣類をたたんで仕分ける。

いきいきクラブ 10名

- ・2班に分かれて交代でウォーキング。集合場所：レインボーグループリビング

3 まとめ

クラブ活動としての取り組みを始めて2年目になり、利用者の方もスムーズに行動できるようになった。今年度より、新しい取り組みとしてリサイクルクラブを始めた。

活動開始当初は職員、利用者共に慣れないことで戸惑うことも多かったが、2～3ヶ月もすると軌道に乗り、スムーズに活動を行えるようになった。

空き缶の確保など課題があるが、今後も継続して続けたい取り組みになっている。屋外での活動の他に、悪天候時に行う室内での活動も今後は充実した内容のある取り組みを進めていきたい。

(塚本博志、山地恵子、掛川陽介)

1 2 入浴洗濯係

1 取り組み

- ・利用者が安心して使用できる浴室の環境整備や洗濯室全般の管理を行った。

2 内容

- ・毎月グループ会議のない土曜日の午後、各グループより1名の参加で浴室内の清掃を行った。
- ・毎週日曜日の午前、早出職員が洗濯物畳みの後、洗濯室内の清掃を行った。
- ・洗濯室の換気扇・ドア上部の網戸の清掃(月1回以上)を行った。
- ・入浴支援担当表を作成し、勤務変更があった場合は随時変更を行った。
- ・洗濯室に鍵付き戸棚を設置し洗剤、漂白剤、ソフランシート等を保管した。
- ・薬付けは脱衣室で女性職員が行っていたが、同性介助という事をふまえ、足の裏などの薬付けは廊下で行った。また身体などについては男性職員にお願いしたり、無理な場合に限り脱衣室でおこなった。
- ・看護師はトライアングル・レインボー・はなまるの順番でグループの薬付けに入った。
- ・足ふきマットをボランティアに依頼し縫ってもらい新しい物を新調した。

3 課題

- ・掃除時間があまりとれず、掃除が隅々までおこなえなかった。
- ・不足物品の補充などが迅速に行えていなかった。物品の把握と連絡を確実に行う必要があった。
- ・風呂掃除を毎回どこをするのか明確にしておけば良かった。
- ・洗濯室の掃除も徹底出来ていなかった。

(岩戸洋三・渡邊加代子・佐々木拓実)

1 3 寝具

1 内容

- ・毎週日曜日に寝具の発注用紙を記入。
- ・火曜日に寝具の搬入があり、その後リネンの係りが在庫の確認を行い調整をする。
- ・各グループへの在庫枚数の確認をし、リネン庫入口より左の棚に置く。
在庫を確実にする為に在庫は最低限にする。リネン台帳を作りリネン室に置く。
- ・布団やシーツを汚した利用者についてはリネン台帳に名前を記入する。

- ・不潔リネン室に、業者より麻袋を置いてもらい土曜日に麻袋にて回収してもらう。
- ・血液・便の付着した掛・敷布団・毛布は洗わずに小さく丸めて1枚ずつナイロン袋に入れ出し回収してもらう。便の付いた物については便が付いていることを紙に書き、業者に分かるようにナイロン袋に入れておく。
 - ・7月に掛け布団から毛布に変更。
 - ・10月に毛布から掛け布団に変更。

2 反省

- ・伝票記入の方法が徹底できていなかったのも、説明しなければいけなかった。
- ・在庫確認はほとんど出来ていたが、布団を汚した利用者の名前が分からないことがあった。

(若床まゆみ・達中久恵・兼藤克則)

1 4 営繕

1 目的

- ・生活の場としての快適空間の実現、改善を目指す。
- ・不良箇所の早期復旧作業を実現する。

2 内容

- ・不良、破損箇所について、可能なところは出来るだけ自分たちで修繕に努めた。

3 補修箇所

トライアングル

リビング前の通路の壁 2 箇所

リビング横共用トイレのジャンボローラー取り付け後の壁の補修

厨房

作業テーブルのジョイントシール打ち替え

食堂

食堂ジェットタオル破損部シール処理

各テーブル破損部シール処理

レインボー

406号室の塗装剥離箇所をクロス張り

通路、その他居室ドア化粧板破損部シール補修

共用テレビ横壁破損部シール補修

はなまる

洗面所タオル掛け破損取り替え後クロス張り処理

洗面所配水管詰まり分解洗浄処理

各グループドア枠のペンキ剥がれタッチアップ処理

その他、大きな改修については、業者に委託した。

4 まとめ

- ・徐々に破損箇所が増え、修繕痕が目立つようになってきた。壁の破損は壁材を埋めかえた。
- ・係として、不良、破損チェックが不十分で復旧が速やかに出来なかったことが反省点である。

(魚見敏満・藤井智市・渡邊武)

1 5 親の会係

1 概要

- ・ともえ学園入所者の保護者で組織されたものが「ともえ親の会」であり、事務局は親の会係として職員が担当しており、以下親の会の活動を紹介する。

2 事業

1) 定例総会の開催

平成19年5月27日(日) 於:ともえ学園療育センター 47家族、65名参加

平成20年3月1日(土) 於:ともえ学園療育センター 47家族、66名参加

2) 役員会の開催

1回目 平成19年5月27日(日) 於:ともえ学園療育センター

13名出席(事務長・山野本含む)

2回目 平成19年6月17日(日) 於:ともえ学園療育センター

12名出席(事務長・山野本含む)

3回目 平成19年7月15日(日) 於:ともえ学園療育センター

14名出席(園長、山野本含む)

4回目 平成19年11月18日(日) 於:ともえ学園療育センター

13名出席(園長、山野本含む)

5回目 平成20年3月1日(土) 於:ともえ学園療育センター

13名出席(園長、山野本含む)

3) 福利厚生...香典、弔慰金、生花、傷病見舞金、餞別の贈呈。

4) A I U損害賠償保険への加入継続。損害賠償金の支払い。

5) 入院時の付添看護料の贈呈。

6) 親善球技大会の見学、応援 平成19年5月20日(日)

於:広島市立大学 野球場及び体育館

7) 美化茶話会の開催...平成19年6月17日(日) 於:ともえ学園療育センター

「学園美化活動とグループ別茶話会、全体会」 45家族60名参加

8) 美化研修会の開催...平成19年11月18日(日) 於:ともえ学園療育センター

「健康人の第一歩」三次市ま福祉事務所 すこやか保健室

健康づくりグループ 主任 高岡孝子氏

48家族61名参加

9) 懇親会の開催...平成20年3月1日(土) 於:三次グランドホテル

47家族、66名参加。学園職員28名参加

10) 例会の開催

平成19年7月15日(日) 於:ともえ学園療育センター 50家族、76名参加

11) お楽しみ会の開催

平成19年7月15日(日) 於:ともえ学園療育センター 50家族、76名参加

12) 河内ふれ愛祭り... 平成19年11月4日(日) 於:河内公民館

「リサイクルバザー」の実施。ご家族6名準備に参加

13) 外泊の受け入れ、援助

平成19年 4月29日(日) ~ 平成19年 5月 5日(土)
平成19年 8月10日(金) ~ 平成19年 8月17日(金)
平成19年12月29日(土) ~ 平成20年 1月 5日(土)
平成20年 3月30日(日) ~ 平成20年 4月 6日(日)

14) 親子レクリエーションへの参加

レインボー 平成19年10月6日(土) 16家族、24名参加
トライアングル 平成19年10月7日(日) 16家族、24名参加
はなまる 平成19年10月8日(月) 20家族、31名参加

3 感想・今後の課題

美化作業・お楽しみ会などで、細かい物品不足があった。準備時にしっかりと、確認する事が必要。
受付時に混雑する場面があるので、名札や資料を渡す工夫をする。河内ふれ愛祭りなどで、殆ど女性の方が準備で宿泊をされる中、男性の方がおられた際の配慮。

1年間、力不足の場面もあったが、怪我もなく、無事に終えることが出来た。

(山野本恵美・高場修治・堂西美保)

16 食生活

1 目的

・食堂の環境整備、清掃、備品の管理をおこない、毎日の食事を美味しく気持ち良く摂っていただけの快適な空間を提供する。

2 内容

- ・状況に応じ席の配置を見直し、全職員にサイボウズを使用し周知した。
- ・毎週日曜日に各部署より1名ずつ集まり、汚れている箇所を清掃した。また、チェック表を作成しその確認をした。
- ・毎週エプロンの洗濯を行った。
- ・食堂入り口での手指消毒の徹底を行った。
- ・手指消毒用タケックスクリーンの補充を行った。
- ・「のれん」やラジオのBGMを食事時間に使用することで、楽しく食事ができるよう環境作りに努めた。
- ・ペーパーナプキンを使用し食後の身だしなみを整えた。

3 課題

- ・ペーパーナプキンを使用して、利用者の口の周りを拭き取ることで、清潔や身だしなみを保つ取り組みを徹底する。
- ・窓や壁、椅子などの清掃を徹底する。

(荒瀬好司・竹間和輝・魚見敏満)

17 実習

1 受け入れ状況

学 校 名	人 数	期 間
佛教大学教育学部	1	平成19年 9月10日~ 9月14日

国際医療福祉総合学院	1	平成19年10月15日～10月24日
更生施設いくせい	2	平成19年10月30日
キャピタル国際福祉専門学校	1	平成20年 2月12日～ 2月21日

2 まとめ

事前にオリエンテーションを行い、利用者の特徴、障害特性を説明し、施設見学を行ってもらった。自閉症について説明してあるビデオを貸し出し事前学習をしてもらい、実習に参加してもらった。配属部署については、オリエンテーションを行った上で判断し決定した。施設職員の方を受け入れ、施設実習を行ってもらった。

(有田貴之、相川敦美)

18 ともえ通信

1 概要

- ・ともえ通信の編集発行と、平成18年度の事業報告書の編集発行を行った。
- ・事業報告書は、年度末から原稿を集め、全てを学園のパソコンに入力した。
- ・ともえ通信は、毎月1日に90部程度印刷、発行し、ご家族、理事、評議員に配布した。また、同時にホームページにも掲載し、広く広報した。

2 毎月の記事

5月1日発行 第229号	4月のともえ	各グループの近況	一品メニュー
	5月の予定	新任職員自己紹介	編集後記
6月1日発行 第230号	5月の様子	各グループの近況	一品メニュー
	親の会行事	6月の予定	人事異動 編集後記
7月1日発行 第231号	6月の様子	各グループの近況	一品メニュー
	挨拶運動	7月の予定	人事異動 編集後記
8月1日発行 第232号	7月の様子	各グループの近況	一品メニュー
	ゴミゼロ係	8月の予定	編集後記
9月1日発行 第233号	8月の様子	各グループの近況	一品メニュー
	職員研修会	9月の予定	編集後記
10月1日発行 第234号	9月の様子	各グループの近況	一品メニュー
	実習係	10月の予定	編集後記
11月1日発行 第235号	10月の様子	各グループの近況	一品メニュー
	日課係	11月の予定	人事異動 編集後記
12月1日発行 第236号	11月の様子	各グループの近況	一品メニュー
	看護	12月の予定	看護から 編集後記
1月1日発行 第237号	12月の様子	各グループの近況	一品メニュー 月例会
	支援部長	1月の予定	人事異動 編集後記
2月1日発行 第238号	1月の様子	各グループの近況	一品メニュー
	年賀式	餅つき	とんど
	ボランティア係	2月の予定	人事異動 編集後記
3月1日発行 第239号	2月の様子	各グループの近況	一品メニュー

4月1日発行 第240号	節分祭	寝具係	職員自己紹介	3月の予定	編集後記
	3月の様子	各グループの近況	一品メニュー	ひな祭り	
	食生活	4月の予定	人事異動のお知らせ	編集後記	
			(山地恵子 福永真也 渡邊 武)		

19 研修

1 職員研修会

- ・ 4月21日(土) 18:10~20:00 職員室 28名参加
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を認識する」
- ・ 5月26日(土) 18:10~20:00 センタープレイルーム 26名参加
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「行動の理解について」
- ・ 6月23日(土) 18:10~20:00 センタープレイルーム 23名参加
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「行動の理解について」
- ・ 7月24日(土) 18:10~20:00 センタープレイルーム 23名参加
講師：子鹿学園 安井良一先生
テーマ：「毎日してほしいと言われる口腔ケアとは」
- ・ 9月29日(土) 18:10~19:10 センタープレイルーム 20名参加
講師：三次消防署員1名
「救急教室」心臓マッサージや人工呼吸の実践とAEDの使用方法について
- ・ 10月20日(土) 18:10~20:00 センタープレイルーム 14名参加
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「人間理解を目指す関わり」
- ・ 12月15日(土) 18:10~20:00 センター大作業室 20名参加
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
テーマ：「問題行動の理解と支援」
- ・ 2月16日(土) 18:10~20:00 センター大作業室 22名参加
講師：広島大学教育学部教育研究科教授 船津守久氏
・ 各グループの処遇困難事例についてのアドバイス

2 新任職員のビデオによる研修

目的

- ・ 利用者に対する共通認識を持ち理解を深める
自閉症の障害だけでなく、1人の人としてその尊厳を見つめることができるようになるために、自閉症の理解を深める

内容

- ・ 6名の新任職員を対象に「自閉症者の自己実現を目指して」と「自閉症の子どもたち～バリアフリーを目指して」の2本のビデオ見ての感想を提出してもらった。

3 その他

- ・出張研修報告書・出張内容報告書の内容確認、サイボウズでの周知及びファイル綴じ。

4 結果・課題

- ・職員研修会では、船津守久氏に6回講義して頂いた。参加した職員はとてもわかりやすく、いつもとても勉強になったという感想がほとんどだった。特に処遇困難事例についてのアドバイスはすぐに実践できる内容で、今後も参加したいという意見が多い。
- ・安井良一先生の講義では、身近なことでありとても勉強になった。ブラッシングの仕方などすぐに役立ち実践できた。
- ・救急教室では、まずは慌てずに近くにいる人を呼んで落ち着くことが大切だと教わった。また、人工呼吸や心臓マッサージの実践、AEDの使用方法を教わり良かったという感想が多かった。できれば年に1、2回は行って欲しいという感想も多かった。
- ・課題としては参加したいが、遅出勤務者は途中からの参加となってしまう。時間的には今の時間帯しかないように思うので、全職員が同じように参加できるよう勤務の組み方を工夫していただきたいと思います。。

(中田和弥、野曾原光裕、掛川陽介)

20 ボランティア

1 概要

今年度もボランティアグループみよしの皆様のご協力により、衣類補修、台拭き縫いオシメ縫い、アイロン掛け、チャックつけ、換気扇掃除をして頂きました。

ミシンを使れる際、慣れないミシンで時間が掛かってしまうこともありましたが、多種類の縫製に丁寧に綺麗に仕上げて頂きました。

2 受け入れ状況

月	4月	5月	6月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域名	十日市	河内	十日市	粟屋	川西	青河	田幸	三次	河内	青河
参加人数	4名	5名	4名	4名	5名	5名	4名	5名	4名	5名

(木村美代子、若床まゆみ、岩岡直幸)

21 あいさつ運動

1 理念

- ・「あいさつ」は、人間が社会生活を送る上の基本的なコミュニケーションの手段です。
- ・明るい職場、楽しい職場の活力として積極的に推進していきたい。

2 目標

- ・「お互いに、いつでも、どんなときでも、顔を見て笑顔で挨拶をしましょう。」

3 内容

- ・4月～9月「笑顔であいさつ」をテーマに四季の壁画を作り、職員の笑顔の写真を一週間毎に3名ずつ掲示し、掲示された方は率先してあいさつをする。

- ・ 1日3回の職員による施設内見学では、積極的に利用者の方にあいさつをする。
- ・ 朝礼は、司会者・参加者全員、姿勢を正して大きなはっきりした声であいさつをする。
- ・ 「挨拶一覧表」挨拶のススメを職員室に掲示する。
- ・ 10月～12月「お先に挨拶運動」
毎日あいさつ回数申告票に記入して回収箱に入れてもらい、月末に集計し上位3名を発表すると共に、記念品を贈呈する。
- ・ 10月～3月「お先に挨拶運動」の啓発掲示物

4 反省

- ・ 1年間色々な活動を行い、成果はあったと思う。
- ・ 10月からの「お先に挨拶運動」は最初ゲーム感覚でスタートしたが、だんだんと意識付いてきて挨拶が飛び交うようになり全職員の協力で達成できた。
- ・ 少数ではあるが「意味がない」の意見もあった。
- ・ 挨拶は個々の認識の違いもあるが、一人ひとりの小さな実践から「明るい職場、楽しい職場」が始まると思う。

(岡下チエミ・有田貴之・相川敦美)

2.2 ゴミゼロ運動

1 目的

- ・ 日頃、掃除が行き届いて無い所や、気になる箇所などを掃除し、住みよい環境を整えると共に、気持ちよく使って頂けるように全部署の職員で行う。

2 取り組み

- ・ 毎月第4土曜日の15:30から15分間を活動の時間とした。
- ・ 事前に場所と内容の周知をメールで行い、当日朝礼でお願いをした。
- ・ 各グループから1名、事務所・厨房・看護から1名、ゴミゼロ運動係1名の5名で清掃を行った

3 掃除箇所

- 4月28日 各部署より5名の参加。センター大作業室清掃。
- 5月26日 各部署より4名の参加。ゴミ倉庫の棚磨きと床の洗い清掃。
- 6月23日 各部署より5名の参加。職員室床掃除、ロッカー、シンク 清掃。
- 7月28日 各部署より5名の参加。正面玄関の掃除清掃。
- 8月25日 各部署より5名の参加。センター大作業室 清掃。
- 9月22日 各部署より5名の参加。センタープレイルーム清掃。
- 10月27日 各部署より5名の参加。正面玄関の窓ふき清掃。
- 11月24日 各部署より5名の参加。ゴミ倉庫清掃。
- 12月22日 各部署より5名の参加。正面玄関の掃き掃除清掃。
- 1月26日 各部署より5名の参加。職員室の冷蔵庫、電子レンジ、台所の掃除清掃。
- 2月23日 各部署より5名の参加。センター大作業室清掃。
- 3月22日 各部署より5名の参加。職員室床掃除・内窓～外窓清掃。

4 まとめ

始めのころは、掃除道具の準備を、当日に行っていたので、段取りが悪かったが、前日に用意する

ようになり、早く掃除に取り付けるなど、スムーズな作業ができるようになった。15分という短い時間で作業することは、とても難しいにもかかわらず5人で分担して良い作業が出来た。

(山縣圭子・荒瀬好司・岩戸洋三)

2.3 掲示

1 概要

今年度も各方面から、広報誌や、情報、案内が送付されてきました。パソコンを通して全職員に掲示物の案内をし、新しい情報の提供に努めた。少しでも早い提供の為、今年度は掲示物専用のレターケースを設置して活用した。掲示物には長期保存する物や破棄する物の区別をした。例えば掲示する期間を資格等の掲示物は長く、それ以外の物は10日間とした。資格取得に向けて職員にはゆっくり観てもらうことが出来た。

(藤川幸子・竹間和輝・喜多嶋)

2.4 除菌消臭

1 概要

除菌消臭ではトライアングル・レインボー・はなまるの3グループが各生活棟の個室、廊下、トイレ、通路の除菌消臭と医務室が行うエアーケムの取り替え及び年2回施行される厨房の除菌を目的に役割分担しそれぞれが実施した。

除菌消臭では、クリーンボーイ(噴霧機)を使用し、原液で消毒用と消臭用を選択し用途に応じて使用した。厨房の消毒では、タイマーの利用をし業務に支障のない時間帯に行った。

消臭のエアーケムの取り替えでは2ヶ月に1回の割合で、7箇所の点検取り替え作業をした。身長より高い位置に設置されているため、脚立を利用し安全の確認をしながら行った。

(瀬川澄恵)

2.5 人権委員会

1 目標

・人権侵害にならない言葉遣いを身に付け、対人支援技術の向上を目指すと共に、体罰を用いた支援は絶対に行わないという理念を実践するための推進と啓発を行う。

2 具体的重点目標

- ・利用者の呼称は、「さん」付けで統一する。
- ・叩いたり蹴ったりはもちろん、威圧的、権威的な働きかけをしない。

3 取り組み

- ・人権委員会より、各グループ会議までに議題を提起し、会議で話し合ってもらう。
- ・会議で話し合ったことを係でまとめていく。
- ・議題に挙げていきたい項目を係へ随時伝えてもらい、毎月会議で検討していく。

4 各月の議題)

- ・7月 ・食事場面での人権について
- ・8月 ・クラブ活動時の人権について
- ・9月 ・廊下、通路から、利用者の個室、寝室が必要以上に見えるようにする

- ・利用者個人の職務上知り得た情報を他に漏らすこと
- ・本人の了解なしに居室、寝室に入ること。
- ・本人の了解なしに所持品の確認をすること。
- ・11月
 - ・利用者衣服の着脱やトイレ使用の際、他から見えるようにする事。
 - ・第三者に対し、利用者の生活、活動状況の説明等を、本人の前で行うこと。
 - ・利用者本人やご家族の了解を得ずに、本人の写真、名前や作品を掲載、展示したりする事。
- ・12月
 - ・長時間待たせたり、放置すること。
 - ・支援内容を利用者個々の人格を無視した、職員側の価値観や都合での一方的、画一的なものにすること。
- ・1月
 - ・命令調になったり、大声で叱責すること。
 - ・職員が管理しやすいように、衣類の名前を大きく書く等の行為をする。
- ・2月
 - ・クラブ活動時、利用者が嫌がる事を強要すること。
- ・3月
 - ・まとめ

5 まとめ、今後の課題

毎月会議で議題を上げていくことで、意識付けが出来るようになってきていると思うが、常に冷静な判断、状況把握が出来るよう、職員全体で取り組んでいかなければならないと思う。

(達中久恵・宮崎静美・藤井智市・佐々木拓実・日坂悦子)

2 6 見学者

1 概要

電話での依頼により、見学日、内容等の希望を聞き、行事予定表に沿って日程調整を行った。特に、利用者の生活棟の見学については、利用者への影響や、プライバシーの保護を優先し、時間帯をずらせたり時には見学を中止したりなど十分な配慮を行い実施した。

2 見学受入日

・6月22日	3名	一般(入所希望)
・8月23日	1名	一般
・8月28日	1名	一般(入所希望)
・10月2日	3名	一般(入所希望)
・12月4日	3名	一般(入所希望)
・2月5日	3名	一般(入所希望)

(古栗 慎)

2 7 防災

1 目的

- ・災害発生時は、速やかで適切な対処となるよう危機管理体制を充実させる。
- ・消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を積む。

2 防災研修会の実施

1) 研修内容

利用者不明時の対応

日勤帯、夜勤帯の連絡方法など

消防関係

「防災マニュアル」を資料として基礎知識を身に付ける事を目的とし実施した。

消防設備及び施設設備を実地見学する。

前年度中途採用職員と異動職員と新任職員の個別研修の実施

3 緊急通報方法の変更

火災時の職員一斉連絡について - 変更

携帯電話のメール機能で、らくらく連絡網へ一斉メールを発信をしていたが、平成20年2月から、ネットワークカメラのアラーム機能を活用した自動メール発信システムを構築した。

事務室と各グループの職員室に送信ボタンを設置し、ボタン一つでらくらく連絡網へメールを発信することとした。

消防署への通報についても、非常通報装置から、携帯電話で直接通報することに変更した。

(携帯電話もコードレス電話機も使用出来ない事態の時には、非常通報装置を使用する)

4 吸引掃除機使用訓練

・11月 吸引掃除機使用訓練実施。

職員が検食中に喉にものを詰まらせた設定で訓練を実施した。

吸引掃除機は食堂の手洗いの下に、いつでも使用出来る状態で保管し点検も随時行ってる。

5 人工呼吸器ユニット118番、AED

・1月 職員室で朝礼時間に訓練実施。

いざという時だれでも使用出来るように、「人工呼吸器ユニット118番」と「AED」は職員室に常置し、毎日朝礼時に所在やバッテリー状況を確認している。

6 消防訓練実施状況(は防災リーダー)

4月20日 金曜日 昼間の総合訓練 訓練者: 高田・全員

5月25日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 岩戸・荒瀬・山地

6月15日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 野曾原・渡邊・魚見

7月20日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 塚本・木村・若床

8月27日 月曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 藤井・片原・堂西

消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

9月18日 火曜日 昼間の総合訓練 訓練者: 後田・全員

10月19日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 達中・山下・岩岡

11月22日 木曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 香川・有田・竹間

消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

12月14日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 高田・高場・佐々木

1月 8日 火曜日 昼間の総合訓練 訓練者: 宮崎・全員

2月22日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 中田・福永・掛川

消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

3月14日 金曜日 夜間想定総合訓練 訓練者: 荒瀬・相川・魚見

7 消防設備点検

年2回実施 平成19年9月・平成20年3月 業者委託により実施。

(宮崎静美)

28 朝礼

1 概要

夜勤者以外の全出勤者が職員室に集まり、9時より実施した。

開会挨拶、身嗜みのチェックから始まり、園長、事務長、支援部長、各グループ、看護、栄養課長、事務、厨房、全体係、その他からの報告、予定などを受け、最後に閉会挨拶で終了する。

(古栗 慎)

29 運営会議

1 概要

各部署の代表者で構成され、毎月、1日を予定し協議した。

会議では、利用者主体の指針を見失わないように、問題提起、課題検討、日程調整等を行い、施設のより円滑な運営と利用者サービスの向上を目指した。

資料など、紙は一切使用せず、プロジェクターを利用して、随時必要な情報はインターネットからも収集し会議を進めた。

日々の情報は速やかにパソコンのグループウェアで周知され、会議では報告等が削除されることにより、必要な内容を掘り下げ討議できるようになった。

会議後は速やかに運営会議録をまとめ、即日、全員に周知した。

(古栗 慎)

30 安全運転管理者

1 目標

- ・交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する。
- ・車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意する。

2 内容

- ・トライザセーフティinひろしまへ8チーム参加
- ・安全運転啓発の図書、垂れ幕を掲示
- ・各季の交通安全運動の周知
- ・安全運転管理者協議会からのメールマガジンを抜粋し周知
- ・車輛の点検、整備を業者に依頼

整備状況

- ・軽トラック 広島41 と 3080 4月... 6ヶ月点検 10月... 12ヶ月点検
- ・軽乗用車 広島50 に 3113 9月... 6ヶ月点検 3月... 12ヶ月点検
- ・普通乗用車 広島530と 5130 6月... 6ヶ月点検 12月... 24ヶ月点検
- ・普通乗用車 広島330さ 5130 7月... 6ヶ月点検 1月... 24ヶ月点検
- ・マイクロバス 広島230さ 5130 6月... 3ヶ月点検 9月... 3ヶ月点検
12月... 12ヶ月点検 3月... 3ヶ月点検

3 まとめ

- ・トライザセーフティinひろしまへ参加した8チーム中5チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。
- ・通勤時の物損事故が数件あった。
安全運転に努めて頂くよう、引き続き啓発運動を行っていきたい。
- ・定期的な車両点検を実施し、今後も整備不良による事故が発生しないよう注意をしたい。

(高田孝康)

3 1 危険物取扱者

1 概要

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行っている。

2 内容

- ・毎月、掲示板、漏油検知管、通気管、消火器の有無等の点検を行った。
- ・9月6日 3年毎の危険物地下タンク及び地下埋設配管気密漏洩検査を実施し、異常は見られなかった。

(後田喜代子)

3 2 ふれあいランド

1 目的

完全参加と平等の理念を具体化するため、障害者に対する福祉施策を紹介するとともに、障害者が訓練や作業を行っている状況の紹介や製作した手芸・工芸品等の展示を通し、また、障害者雇用の重要性を広く県民に周知することにより、障害者に対する県民の理解をいっそう深める。

2 テーマ

「みんなの理解でふれあう喜び」

3 開催期間

平成19年9月28日(金)～9月30日(日)10時～16時

4 会場

- ・庄原市ふれあいセンター(庄原市西本町4丁目5-26)
- ・ジョイフルショッピングセンター(庄原市西本町2丁目19-1)

5 開催内容

- ・障害者に対する福祉政策施策及び雇用労働施策の紹介
- ・障害者の為の福祉サービスの紹介
- ・訓練や作業などの状況の紹介
- ・作業活動などで製作した手芸・工芸品等の展示・即売
- ・児童・生徒が描いた絵画の展示
- ・障害者を対象とした暮らしの相談

6 参加施設

展 示：展示42施設・即売27施設・ステージ発表9施設・友情出演9団体

参加者数：5860人

ボランティア：67名

雇用開発協会

県知事表賞：5団体22名表彰

7 反省

広報係として運営に参画した。

主にポスター、チラシ、看板の作成を行ったが、ポスターとチラシの作成に時間が掛かった。

(山下 誠)

3.3 福祉協会

1 概要

広島県知的障害者福祉協会スタッフ部会に部員として登録

・2月に福山市で開催された第2回支援スタッフ部会研修会に参加。

「新体制に事業移行するにあたって必要なことを考える」をテーマに4施設が事業移行にあたっての準備と移行後の状況についての発表があった。

どこの施設も試行錯誤し、問題もたくさんある現状だと感じた。

(中田和弥)

3.4 ホームページ

1 概要

施設のことを広く理解していただくため、情報公開と情報提供、施設の旬の様子を公開を目的に開設し運営している。

三次ケーブルビジョン「ピオネット」をプロバイダとして、10メガの容量で開設。

10メガだけでは不足するため、各種の無料のサイトを開設しリンクさせている。

複雑にならないよう簡素で、早くアクセスできる容量の軽いページ作成に配慮している。

2 内容

15以上のメニューを設け、さらに各メニューの中にも多数のページを掲載している。

各グループ、厨房、事務については毎日出来事を更新し、さらに園長、支援部長のブログも掲載。

ウェブカメラにもリンクさせ、施設のライブ映像を自由に閲覧できることとしている。

ともえ会本部、子鹿学園、こじか荘とも相互リンクし、規程などについては共有している。

URLは、tomoe@p1.pionet.ne.jp

3 まとめ

平成13年10月に開設以来、6年半が経過してアクセス数も9万件に達しようとしている。

今後も、個人情報保護しながら、施設への理解をより深めていただくために旬の情報を提供していきたいと思う。

平成19年度 事業報告書

平成20年4月5日発行

発行人

ともえ学園（知的障害者更生施設）

園長 前岡 孝司

〒728-0002

広島県三次市西河内町250番地

Phone 0824-62-5130

Facsimile 0824-62-1934

E-mail : tomoe@p1.pionet.ne.jp

URL : <http://www.pionet.ne.jp/tomoe/>
